

記念文集を読んで

武蔵野東学園50周年記念文集を拝読しました。一般的な学校記念文集だと、先生方の寄稿文や過去の写真などの掲載が多く紙面スペースを占めるように思います。しかし、本文集は、保護者の寄稿文や様々な後援会活動での座談会の内容を掲載するなど、大変ユニークな紙面作りであるなあと感じました。

現在、我が家は子ども3人が東中と東小にお世話になっています。そして私自身も、後援会の保護者活動として、小学校の「エンジョイ」や、中学校の「親父の店」に参加しています。本文集を読むことで、これらの保護者活動が始まった経緯や、当時のエピソードなどを知ることができ、とても勉強になりました。また、私たち現役保護者が現在も活動を行えるのは、OB保護者の方々が今まで積み重ねてきた結果の賜物に他なりません。私も子どもの学園卒業後は、OB保護者として、学園に微力ながら寄与できれば幸甚に存じます。最後になりますが、編集部皆さん、お疲れさまでした。(編集委員 咲間)

50周年後援会活動総括

連合後援会では、武蔵野東学園創立50周年の記念の年に向け、保護者目線でこの50周年を振り返ると共に、創立者や先生方に感謝し、未来の学園にエールを送る活動をしたいと考え、昨年度から4つの事業を展開してきました。

ご存じのとおり4つの事業とは、下記のとおりです。

1. 学園間を廻る「襷リレー」、2. Tシャツ、バッグ等の「記念グッズ」の販売、
3. 保護者による「記念文集」作成、4. 来年1月実施の「記念講演」

「襷リレー」では、紫色の襷が、むらさき親子運動会、各園校の運動会や体育祭、OB会、そして海を越えボストン東学園まで廻りました。襷は、児童生徒や保護者、先生方に手渡され、多くの方々が東学園の歴史を感じると共に、友愛の絆に触れたのではないのでしょうか。

「記念グッズ」も売れ行きが好調、追加申込みを戴くほどでした。収益金は全額学園に寄付されました。

「記念文集」では、たくさんの現役OB保護者にご協力いただき、現在まで続く多くの保護者活動のルーツを確認できました。また、お子様が卒業されてもOB保護者の皆様の東学園に対する変わらぬ愛情を感じざるを得ませんでした。

「記念講演」は、来年一月。楽しみにして下さい。

昨年より始まった後援会の50周年記念事業は、多くの方々に支えられ終了することができそうです。

次の50年にも、素晴らしい後援会活動が引き継がれることを祈念いたします。

(連合後援会代表幹事 大槻)

編集後記

今号は50周年を記念した号外となりました。

例年は11月の学園祭告知の後、卒業まで間が空いていたのですが、学園祭の感想や記念式典、後援会活動など、50周年にふさわしい内容となりました。

50周年に沸いた武蔵野東学園でしたが、気がつくともう年の瀬です。来年も良い年でありますように。

●編集委員会(編集スタッフ)

高等専修	前原かおり	古谷道代
中学校	竹中真知子	早川康子
小学校	大河原ひろみ	飯塚希美
幼稚園	高見澤泰子	保谷梨紗
高等専修	大槻 敬	家住 隆士
中学校	青柳 博行	内藤 忠男
小学校	松井 幹和	咲間 全雄 遠藤 崇浩



発行：武蔵野東学園連合後援会だより編集委員会 第63号 平成26年 12月11日発行



武蔵野東学園 連合後援会だより

号外! 号外! 武蔵野東学園が50周年を迎えたよ! 読まなきゃ損するよ。
もう部数も残りわずか。さあ、読んで読んで!...なんて急かしません。
ゆっくり楽しんでご覧ください。

祝 50周年



半世紀 そして未来へ
2014年11月11日
武蔵野東学園 創立50周年

記念祝賀会

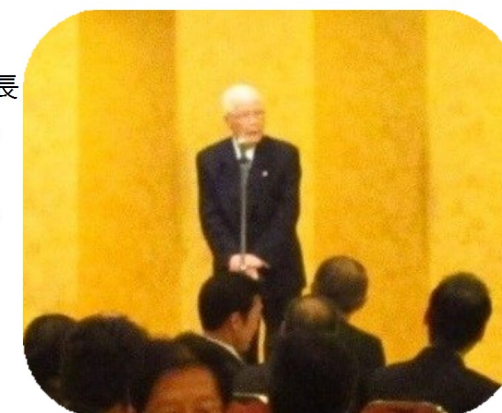
2014年11月11日、ついに武蔵野東学園は50周年を迎えました。

各園校での記念式典など学園内でもさまざまな行事がありましたが、本号では2014年11月8日にパレスホテル立川で開かれた「創立50周年記念祝賀会」の様子をお届けします。

多くの方々のご支援により、50周年を迎えることができたという感謝の会として、約400名の方々のご出席を得て盛大に行われました。

そのなかでも特に印象に残ったのは、格別お世話になった 元衆議院議員で文部大臣も歴任された奥野誠亮先生がご登壇され、北原キヨ先生に語りかけるようなお言葉を賜り、50周年の重みとともに私たちに深い感動を与えてくださったことでした。

また、北原キヨ先生ご存命中に東学園に入られた教職員の先生方も70数名ご参加されておられましたが、寺田理事長のご執筆された「武蔵野東学園物語」に記されているように、キヨ先生亡き後の学園を支え続けた方々であり、この日も祝賀会への参加というよりはご来賓のエスコート役に徹され、相変わらずのご献身ぶりに頭の下がる思いでした。



ご祝辞をされる奥野誠亮先生



そして、私たち後援会も先生方と二人三脚で子どもの成長と学園を支えてきた歴史があり、歴代後援会長、OB会の方々を代表して、現連合後援会代表幹事大槻さんがご登壇され、学園より「後援会」に対して感謝状を頂きましたことをご報告致します。これからもその名の通り学園を応援していく後援会であり、さまざまな活動へのご協力をみなさまにお願い致します。(編集長 松井)

新しい園庭でポップコーンが踊る

レッツの活動としてすっかり定着してきたポップコーン販売ですが、今回初めての試みとして三種類の味を販売しました。定番の塩の他に、バター醤油、コーンポタージュです。

当日は天候にも恵まれ、絶好の園祭り日和となり、売れ行きもますますでした。準備する備品や当日の作業内容等は今までと変わる部分も多かったのですが、皆様のご協力のおかげで無事終えることができました。買いにきてくれた子供たちが試食をしながら、どの味にするか選ぶ姿が微笑ましかったです。そんな子供たちの笑顔を励みにこれからも活動していきたいと思います。

またお手伝いいただきましたお父様、先生方、そしてご来園くださいました皆様にこの場をお借りしまして改めて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。
(ポップコーン店長 土方)

中学CDE組劇 北原キヨ物語

学園創設後のキヨ先生のお考えやご活躍振りは、ことある毎に学園の刊行物や先生方のお話の中で紹介されてきましたので、これまでも親しんで参りました。しかし、今回の劇は、学園創設以前の若き日のキヨ先生について知るととても良い機会となりました。キヨ先生の生い立ちや教育に対する情熱、それを支える同僚の先生方をはじめとした多くの方々の存在、勝平先生の工場経営における苦悩等について丁寧に描かれた台本を、生徒の皆さんが大熱演してくれたお陰で、印象深く感動的に理解することができました。特に、3人の生徒さんが演じてくれたキヨ先生には、それぞれまるでキヨ先生が乗り移っているのではないかというリアリティがありました。他の生徒さん達の演技も素晴らしく、さすが最上級生と思った次第です。

(中学校副会長 吉田)



小学校体育館での最後のビンゴ大会

初めてのビンゴの司会。私と副会長はどうしたら盛り上がるかを考えた末、今年流行の妖怪ウォッチ、アナと雪の女王のキャラクターの着ぐるみで登場することとしました。ビンゴ担当のお母様には驚かれましたが、とても暖かく応援していただき勇気付けられました。

さて、ビンゴがスタートして舞台に立つと、私たちは体育館を覆う東っ子の大きな歓声に圧倒され、そのパワーに我々が盛り上げられるという逆の結果となりました。

ビンゴしたときのやった！という姿、また、お目当ての番号がなかなかでない時のくやしそうな姿、皆さんのいきいきとした表情がとても印象的で、我々も楽しみながら会を進めることができました。

長期間に渡り準備を進めて頂いた役員様はじめ、お手伝いのお母様、ならびにこのビンゴ大会を最後にその長い役目を終えることとなりました体育館、どうもありがとうございました。

(小学校後援会長 荒井)

50年目の学園祭



お知らせ!

50周年記念講演会

日時:平成27年1月17日(土)13:30-15:20

場所:武蔵野東中学校体育館

別途学園を通じて、
ご案内とご出席希望用紙
が配布されています。
お見逃しなく!

一部 13:30-14:10

基調講演「共に生きる社会を目指して」

全国特別支援教育推進連盟 理事長 大南英明先生

二部 14:20-15:20

パネルディスカッション「東学園50周年から発信する未来へのメッセージ」

パネラー:大南英明、清水信一(高専校長)、加藤篤彦(幼稚園園長)、
太田秀昭(OB会)、大槻敬(連合後援会代表幹事)(敬称略)

進行役:有田誠(むらさき会会長)



紫峰祭

正面玄関をくぐると、多くの来場者と熱気！そこには活気が漲っていました。生徒は来場者を歓待、多くの笑顔に迎えられました。私の今回のお目当ては50周年記念のステージショー。

久しぶりに舞台にランウェイ(花道)が復活との情報を掴んでいました。ステージショーは体育コースと被服コースのコラボレーション。そこはまるでTokyoGirl'sコレクションのような雰囲気。体育コースの息の合った力強くもカッコ良いダンスを堪能。被服コースの早着替えのファッションショー。そしてやはりラストは、感動的なウェディングショー。これまで何度も見っていますが、今回はとびきり感激いたしました。全員の生徒のやりきった笑顔は最高の一言。あっ・・・もちろん、調理コースの美味しいカレーを頬張りながら観覧していましたよ!!! (高等専修学校会長 大槻)

